

日に日に厳しい寒さも和らぎ春の陽気を感じられるようになりました。
 月日が経つのは早く今年度も残り1ヶ月となりました。昨年より新型コロナウイルス感染症が拡大し、四月に入ると「緊急事態宣言」が発出され登園自粛にご協力いただきました。行事も殆んど中止となりみんなの思い出が少なくなってしまいました。しかし、そんな中でも子どもたちは1身共に大きく成長し、たのめさを感じられます。一年間保護者の皆様には、園への温かいご理解とご協力をいただきありがとうございました。

3月の行事

- 2日(火) 身体測定
- 3日(水) 桃の節句
- 5日(金) おはなし会(以上児)
- 9日(火) 消火避難訓練
- 11日(木) おはなし会(未満児)
- 12日(金) お別れ会
- 18日(木) お別れ遠足・お弁当の日
- 22日(月) 卒園式リハーサル(ぞう組)
- 23日(火) 誕生会
- 27日(土) 卒園式

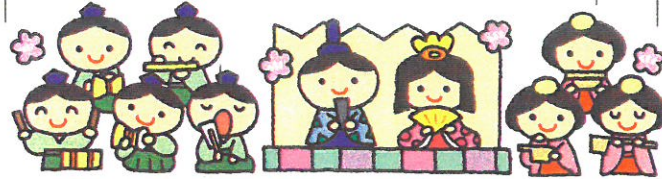
ひなあられのおはなし

3月3日(水)は、桃の節句(ひなまつり)ですね。
 この日に食べるのがひなあられ。桃・緑・黄・白の4色のひなあられは、四季を表すといわれています。「年を通して子どもの幸せを祈る」という意味が込められているという説もあります。また、白・緑・赤で構成された3色のひなあられもあります。白は残雪、緑は若草、赤は命を意味しているそうです。(諸説あり、赤は桃の花を表しているといわれています。)
 季節の情景や女の子の幸せを願う思いがたくさん込められています。



ひなまつり

女の子の健やかな成長を願って
 お祝いする日です。昔の中国では、3月上旬の巳の日に水辺で身を清めてけがれを流し、桃花酒を飲んで邪気を祓う風習がありました。そのとき紙などで作った人形に災厄を移して川や海に流していたものがやがてひな人形へ変わっていきました。



関東と関西のひなあられ

関東と関西でひなあられに違いがあることを知っていますか？
 関東では、うるち米をそのままの形で膨らませて石砂糖で甘く味付けしたものです。関西では、もち米を1センチほどのあられにしてしょうゆや塩などで味付けしたものです。みなさんは、ご存知でしたか？
 今年のひな祭りに味くらべをしても楽しいですね。



桃の節句に食べるもの

桃の節句に食べるものの中に潮汁があります。潮汁は、魚介類のだしを塩で味付けした汁物です。桃の節句でははまぐりの潮汁ですが、はまぐりの二枚貝は貝がひらいたりあいて、他の貝殻とはあわないそうです。そのため夫婦円満の縁起物とされ、女の子の健やかな成長と幸せを願うひな祭りにも食べられるようになったといわれます。海のうまみがたっぷり溶け込んだ潮汁は、それだけでもお祝いの華やかなごちそうです。

京びなと関東びな

ひな人形には京都で作られる「京びな」と関東で作られる「関東びな」があります。
〔京びな〕
 ・左側(向かって右)に男びな、右側に女びなが座っている
 ・目が細めのおっとりとした目鼻立ち
〔関東びな〕
 ・右側(向かって左)に男びな、左側に女びなが座っている
 ・はっきりめの目鼻立ち

